

21、岡部一字津ノ山 駿河国・静岡県藤枝市

丸子から岡部まで7.9 km、途中の宇津ノ谷峠は平安の昔から「薦の細道」と呼ばれる、細く険しい難所で、今でも昼なお暗い峠道です。

絵は岡部へと下る狭い峠道で、きこりと旅人がすれ違う様子を描いています。

岡部宿では名物の十団子が待っています。



22、藤枝一人馬雄立 駿河国・静岡県藤枝市

岡部から6.8 km、藤枝宿に着くと、荷は馬や人足を替えて次の宿まで継送され、一般の旅人もここで馬や駕籠を調達しましたが、こういった手配をする所が問屋場（といやば）です。

絵は問屋場の様子を描いたもので、前の宿場からの荷を下ろしているところでしょうか、馬から荷を下ろす、煙管で一服する、背中 of 汗をぬぐうなど人足の様子を書き分けています。先頭で下役の宿役人という武士は、荷の確認と次の継送の手続きをしており、高い場所に座るのは上位の宿役人で全体の差配をしています。後方では餌をもらう馬や宿駕籠が置いてあります。

23、嶋田（島田）一大井川駿岸 駿河国・静岡県島田市

藤枝から8.7 kmの嶋田宿を出ると、すぐ大井川にぶつかります。東海道の箱根と並び最大の難所と言われ、増水すると川留めになるため両岸の宿場には旅人であふれることになり、7日間も続くと路銀が尽きる者も出ました。駿河国最後の宿場です。

絵は大名行列が細密に書き込まれ、後方では町人らが待機しています。建物が描かれていない点も特徴です。

